



JPI催しのご案内

2014
4

公益社団法人日本包装技術協会

開催要領

会場 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

日時 平成26年4月24日(木) [第1部]13:15~15:00 [第2部]15:15~17:00

参加費 JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,240円(1部会、税込)

第1部 第200回包装ラインシステム化研究会

13:15~15:00

【テーマ】最新マテハン事情~マテハン機器のトレンドと開発の方向性

弊社は1935年に繊維機械メーカーとして創業し、1962年に物流機器事業を開始して以来、50年以上にわたって「マテハン(マテリアルハンドリングシステム)」及び「ロジスティクスソリューション」のリーディングカンパニーとして、国内外5000顧客で工場自動化や物流センターの実績を重ねてきました。

今講演では、弊社の最新のマテハン機器と、その開発コンセプトを紹介させて頂くとともに、マテハン機器のグローバル

トレンド及びその背景としての物流思想の潮流を、マテハンメーカーの視点で説明させて頂く予定です。

東日本大震災以降ご要望の高まっているマテハンの地震対策技術や、遠隔保守システムの進化等も含めて、マテハン機器の開発がどのような方向性を志向しているのか、それは何故なのかを大きな流れでご紹介することが、物流に関わる方のみならず、グローバル事業に関わる方にとっても多少なりともヒントになれば幸いです。

【講師】村田機械株式会社 執行役員 L&A事業部 技術部長

柳井武則氏

【コーディネーター】東洋製罐(株) カスタマーエンジニアリング部 部長
(株)東京自働機械製作所 システム設計部 部長

湯瀬秀彦氏

中村文雄氏

第2部 第200回輸送包装研究会

15:15~17:00

【テーマ】段ボールの擦れ・紙粉発生について~再現条件とその対策~

輸送中の段ボールの擦れ・紙粉発生によるトラブルは慢性的に発生しているにもかかわらず、応急処置的な対応が多く対策が不十分です。段ボールの擦れ・紙粉発生には、外装箱同士、製品と内装材の間での事例の2つに大別できますが、今回は製品と内装材の間で発生する紙粉発生に注目して、様々な条件で再現試験を行い紙粉発

生量を評価しましたので紹介します。さらに、得られた紙粉発生量のデータから考えられる発生メカニズムやその対策について説明します。また、外装箱同士で発生する擦れについても、現在取り組まれている研究事例などを紹介します。

【講師】あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員

佐藤幹彦氏

【コーディネーター】(株)トーモク 開発営業部 部長代理 包装管理士
三菱電機(株) ロジスティクス部 専任 包装専士

矢島康夫氏

武田正臣氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

4月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒)	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	第1部・第2部
	(e-mail)	@	
	(氏名)	(所属役職)	第1部・第2部
	(e-mail)	@	
	(氏名)	(所属役職)	第1部・第2部
	(e-mail)	@	

4 月度の見学会はございません。

～平成26年度月例研究会アンケートご回答のお礼 並びに図書券の当選結果について～

過日会員各位に配布し実施致しました「平成26年度月例研究会アンケート」におかれましては、多くのご回答を頂き誠に有難うございました。

事務局では頂いた貴重なご意見を月例研究会の運営に反映して参ります。

なお、抽選の結果下記5名の方々に図書券を贈呈致します。

当選者

川上産業(株) 杉山様 / (株)和気 谷河様 / 東北アラハタ(株) 樋口様 / (株)ミカサ 鈴木様 / 芳川紙業(株) 原田様

また、平成26年度の年間スケジュールが決定致しましたので下記にてご報告致します。何卒ご予約頂ければ幸いです。

平成26年度JPI月例研究会年間開催スケジュール（関東開催）

開催日	テーマ（仮）	開催日	テーマ（仮）
4月24日	段ボールのこすれについて ～再現と原因対策。摩擦の理論～	10月30日	パッケージデザインの評価と事例紹介
	ラック倉庫の最新状況について		無形文化財（ユネスコ） 和食の食文化について
5月20日	南インド最新物流事情	11月27日	無菌充填システムについて (容器適正・設計上の考え方)
	東南アジアの自動包装機の 市場動向や技術動向		食品充填技術におけるロングライフ化
6月26日	セーフフードについて	12月18日	日産自動車のノックダウンや 部品の包装と物流について
	消費期限延長による現状について		ネット通販における物流戦略
7月24日	2014年インターパック視察報告	平成27年 1月28日	インターネット販売における 包装のありかた
	人間工学から見たパッケージ開発事例		ロボット導入による分包ラインの自動化
8月21日	40ftコンテナ最後尾の貨物の受ける衝撃について	平成27年 2月26日	食品（包装）の最新の分析技法と その結果について
	輸送環境調査の最新動向		添加剤の基礎（メカニズム）と その評価や制御について（ブリードアウト）
9月18日	ポリオレフィンの基礎（製造方法・機能性） と今後の開発動向	平成27年 3月26日	海外の包装コンテストの 受賞作品から見るトレンド
	最近の電子レンジの機能について		容り法の現状について
注) 開催日とテーマは変更する場合がございます。 毎月発行するパンフレットにてご確認ください。			食品メーカーの包装開発事例

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 月例研究会係 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970 e-mail:satou@jpi.or.jp

4月 第20回包装新人研修コース
～包装にこれから携わる人の入門講座～

開催日：平成26年4月17日(木)・18日(金)
2日間合宿制
会場：セミナーハウス「クロス・ウェーブ船橋」
千葉県船橋市本町2-9-3
定員：30名 *定員になり次第締切
受講料：会員1名/91,800円 一般1名/97,200円
会員3名以上同時申込割り 1名/71,280円
【申込方法】
当会HP (<http://www.jpi.or.jp>) もしくは、
専用パンフレットにてお申込み下さい。

5月 第47回包装基礎コース
～包装の全分野における体系的短期間入門及び実践講座～

開催日：平成26年5月14日(水)・15日(木)・16日(金)・22日(木)・23日(金)
5日間
会場：(公社)日本包装技術協会 会議室
中央区築地4-1-1 東劇ビル10階
定員：70名 *定員になり次第締切
受講料：会員1名/61,560円 一般1名/75,600円
【申込方法】
当会HP (<http://www.jpi.or.jp>) もしくは、
専用パンフレットにてお申込み下さい。

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 包装新人研修コース・包装基礎コース 担当:竹内 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取扱いについて】

1. 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させて頂きます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>